

行政

百歳の誕生月に贈呈する考えは喜ばれる方法を検討

敬老祝い状



清水みな子議員 (日本共産党)
本市では、百歳を迎えても敬老の日にならなければ祝状も敬老祝金も受け取ることができない。そこで、特別な長寿に敬意を表すためにも百歳を迎えた誕生月に祝状を贈呈すべきと考え、市の見解を問う。
答 老人福祉法は、9月15日を老人の日と、9月15日から21日までを老人週間と定めている。百歳を迎えた高齢者に対して、国では老人の日の事業として内閣総理大臣から祝状と記念品を、市では老人週間に市長名で祝状と敬老祝金を贈呈している。市としては、健勝を称える大切な機会と考え、より喜ばれる方法となるよう検討していく。

外国人住民 ルールの理解や周知を促す方策は日本語学習の支援等を行う

外国人住民



野口じゅん議員 (地域政党チームいちかわ)
市長は施政方針で外国人住民に対し、守るべきルールの遵守を有効性のある形で制度化を検討と示している。マナーやルールは国籍を問わず全ての住民が等しく遵守すべきだが、市が外国人住民を強調している理由を問う。また、外国人住民に対し、ルールの理解や周知を促す方策としてどのようなものがあるのか。
答 制度化についてはルールを守るために必要で有効かつ効果的な方法がある場合には慎重に検討した上で適切に対応していく。方策としては日本語学習の支援等のほか、外国人コミュニティ内でルール等の情報共有も効果的と考えている。

行政

第1庁舎と第2庁舎

窓口の配置について市の見解は所管部署とも協議し総合的に調整

ほとだゆうな議員 (未来市川)

本市は、第1庁舎にことおも部が、第2庁舎に学校教育部が配置されている。相談内容によっては庁舎を往

復する必要がある。支援が分断される可能性もあると思うが、両庁舎の窓口の配置について市の見解を問う。
答 第1庁舎は市民サービス及び内部事務の管理機能



第2庁舎は事業者サービス及び教育委員会機能を有しており、市民の利便性確保と行政事務の効率化を考慮し、利用者が多い窓口を第1庁舎の1階と2階に設けている。効率的な組織配置については、市民の声や市民サービス向上を最優先に、所管部署と協議しながら総合的に調整を行っていく。

アウトイング禁止

条例に規定すべき市の見解は現条例の基本理念のもと施策を推進

増田好秀議員 (れいわ・無所属・共生の会)

本人の意思に反して、第三者が性的指向等を他人に暴露するアウトイングについて、全国41自治体が条例

で禁止を規定しているが、本市は広く認知されている。その理由から条例に規定していない。これは、リスク管理が甘く、多様性を尊重する姿勢としては不十分と



考えるが、市の見解を問う。
答 市では、現在策定中の新たな男女共同参画基本計画に基づき、正しい情報の提供等を通じて、アウトイングについて周知することが重要と考えている。そのため、現時点では条例改正は行わず、条例が掲げる基本理念のもと施策を推進していくことが適切と考える。

Arucoの推進

登録者数の増加に向けた取り組みは今後検討していく

浅野さち議員 (公明党)

健康ポイントArucoの利用することで、市民の健康寿命の延伸につながることを、登録者と考える。そこで、登録者

を増やすためには、本市らしいポイント付与メニューの作成や他部署との連携を推進、体組成計など



登録者数の増加に向けては、新たなポイント付与メニューの作成について、他市の先進事例を調査・研究していくほか、庁内の関係部署との連携や周知も重要と認識している。また、体組成計などの設置場所についても、設置場所の偏りや、利便性を考慮した再配置について検討していく。

財政健全化

市民サービスの維持向上との両立は将来を見据えた財政運営が必要

宮本均議員 (公明党)

市の負債の状況や将来の財政見通しなどについての市民理解を深めていくことが重要であると考えている。財政や税金の使い途について、丁寧な説明が必要であり、維持向上を両立させるため

市ではどのような財政運営が必要と考えているのか。
答 これらを両立させるためには、財政健全化の取り組みに加え、令和8年度当初予算編成から新たに取り入れた枠配分方式などによる事業の選択と集中を図るなど、バランスの取れた予算配分と将来を見据えた財政運営が必要と考えている。



平和

平和資源

松やにを平和継承する考えは適切な方法について調査していく

中町けい議員 (いちかわ市民クラブ)

クロマツから採取される松やには、戦時中に市内で採取されていたことから、貴重な平和資源であると考え

える。市立小学校内の採取痕があるクロマツには説明板を設置しているとのことだが、次世代に平和継承するため、民有地等に所在するクロマツに対し、説明板



等を増やす考えはあるのか。
答 民有地に所在するクロマツについては、所有者との調整、維持管理、安全面への配慮等の課題があることから、継承の方法については、説明板の設置といった手法に限らず、映像やデジタル媒体を活用した記録・発信等、今後、適切な方法を調査・研究していく。

市民生活

ドッグラン

江戸川河川敷等への整備は候補地を探す協議などを進めていく

青山ひろかず議員 (自由民主の会)

市内には約2万頭の犬が登録されており、ドッグラン整備の要望があることを認識しているとのことであ

る。そこで、江戸川河川敷や大型施設の屋上等に整備できるかと考えるが、市はどのような検討をしているか。
答 ドッグランの設置については、鳴き声に対する苦



情を避けるため、民家から離れていることや、広いスペースが確保されていることが要件となる。本市は住宅が多く、未利用の土地も少ないため、新たな候補地を探すことは困難であると考えているが、整備に向けて、公有地を所管する部署との調整や、民間事業者との協議などを進めていく。

LED照明への交換

どのようなことに取り組んでいるか交換促進に向け補助制度を実施した

やなぎ美智子議員 (日本共産党)

LED照明は半導体を利用して発光するため、水銀を一切使用していないことに加え、蛍光灯と比較

して寿命が長く、省エネ性能も高いことが特徴である。LED照明への交換を進めるため、市はどのようなことに取り組んでいるのか。
答 市公式ウェブサイトに



おいて、蛍光灯廃止に伴うLED照明への交換のお願いを掲載している。また、LED照明が十分普及したことから現時点では実施していないが、令和3年度と4年度において、LED照明化の改修工事を行った小規模事業者を対象に、LED照明への交換促進に向けた補助制度を実施した。

文化

赤レンガ建造物

市民団体の活動 市職員の参加は引き続き情報共有や意見交換を実施

石原よしのり議員 (新しい流れ)

国府台の旧千葉県血清研究所跡地に建つ赤レンガ建造物については、市民団体が蓄積してきた検

活動している。市は、過去に県から払い下げを受けた方針を表明したが、前進していない。今後、払い下げを受け、活用していく際は、市民団体との情報共有や意見交換を行っていく。



討成果や意見が重要な資料になると考えるが、市民団体の活動やイベントに市職員が参加し、情報収集や意見交換を行う考えはあるか。
答 市民団体のこれまでの取り組みや意見・要望については共有できていると認識している。今後も引き続き、市民団体との情報共有や意見交換を行っていく。